

平成30年度 行政評価 施策カルテ

施策名	2 地域特性を生かした魅力ある拠点の形成
-----	----------------------

施策主管課	地域政策室	総合計画記載頁	149ページ
-------	-------	---------	--------

1 施策の位置付け

政策の柱	V 都市のさまざまな活動を支える都市基盤の機能と質を高めるために	政策名 (基本施策名)	21 機能的で魅力のある都市空間を形成する	政策の達成目標 (基本施策目標)	市内の地域が、その特性に応じた個性や魅力、都市機能を備え、コンパクトで調和のとれた都市空間が形成されています。
------	----------------------------------	----------------	-----------------------	---------------------	---------------------------------------------------------

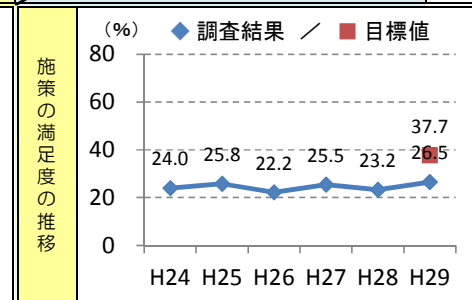
2 施策の取組状況

施策目標	地域特性に応じた都市機能が集積された魅力ある拠点が形成されています。
------	------------------------------------

① 施策指標	指標名(単位)		H24	H25	H26	H27	H28	H29 (目標年)	評価	② 市民意識調査結果	指標名(単位)		H24 (現状値)	H25	H26	H27	H28	H29	評価
	指標1	人口集中(DID)人口(人)	単年度目標値	384,583	384,583	384,583	392,000	392,000			392,000	A	指標3	施策の満足度(%)	調査結果	24.0%	25.8%	22.2%	
実績値			—	—	—	385,594	385,594	385,594	前年度からの増減	1.8pt	-3.6pt				3.3pt	-2.3pt	3.3pt		
目標値(H29)		392,000人	単年度の達成度	—	—	—	98.4%	98.4%	98.4%	③ 主要な構成事業の進捗状況 (主要な構成事業の個別の進捗状況は、「3 施策を構成する事業の状況」を参照)								B	
指標2	都市拠点(市内中心部)の通行量(平日)(人)	単年度目標値	105,000	106,000	107,000	108,000	109,000	110,000	B	【参考】 中核市等との水準比較	人口集中地区(DID)人口密度	中核市平均	6115.4	6214.4	6261.8	6339.9	6449.9	6299.1	/
		実績値	103,880人	実績値	—	99,428	—	86,245				—	87,543	実績値	5414.4	5414.4	5414.4	5414.4	
	目標値(H29)	110,000人	単年度の達成度	—	93.8%	—	79.9%	—			79.6%	中核市での本市の順位	25位/41市中	25位/41市中	26位/42市中	27位/43市中	29位/45市中	29位/48市中	
現状値		実績値							中核市平均										
目標値(H29)		単年度の達成度							実績値										
											中核市での本市の順位								

※『①施策指標』の単年度の達成度の計算について

★ 増進型の指標(目標値が基準値より増加することが望ましいもの)	$\frac{\text{実績値}}{\text{目標値}} \times 100 (\%)$
★ 逓減型の指標(目標値が基準値より減少することが望ましいもの)	$\frac{\text{目標値}}{\text{実績値}} \times 100 (\%)$



※ 評価の考え方	① 施策指標	A: 達成度90%超 [33点]	B: 達成度70%~90% [25点]	C: 達成度70%未満 [15点]
	② 市民意識調査結果(満足度)	A: 前年度より向上 (+5pt超) [33点]	B: 前年度同水準 (±5pt以内) [25点]	C: 前年度より低下 (-5pt超) [15点]
	③ 主要な構成事業の進捗状況	A: 計画以上 (主要な構成事業の2割超が計画以上) [33点]	B: 計画どおり (主要な構成事業の8割超が計画どおり) [25点]	C: 計画より遅れ (主要な構成事業の2割超が計画より遅れ) [15点]
総合評価	順調: (A評価が2つ以上 (C評価がある場合を除く。)) [90点以上]		概ね順調: (主にB評価が2つ以上) [65点以上90点未満]	やや遅れている: (C評価が2つ以上) [65点未満]

取組内容と成果・成果の要因、進捗の状況

施策を取り巻く環境等	国においては、多極ネットワーク型コンパクトシティの推進のため、実効性のある立地適正化計画等策定の促進や医療・福祉施設等の集約地域への移転促進に取り組んでいる。そのような中、平成30年度からは、人口減少、地域経済縮小等の課題を抱える地方都市において、都市のコンパクト化や拠点地域の形成を図り、官民連携の推進や地域資源の活用により、地域の稼ぐ力の向上に積極的に取り組もうとする地方再生コンパクトシティを選定して集中的な支援を行っており、本市もモデル都市として選定されたところである。	市民満足度	各拠点における、駅前広場等の交通結節機能の強化や立地適正化計画に基づく必要機能の立地促進、また、拠点エリアにおける地域資源や拠点広場を活用した週末のイベント開催、出店補助制度など、賑わいづくりに向けた各種取組により、施策の満足度は前年度より増加している。	総合評価	79点 概ね順調
施策指標	・本市の人口集中地区(DID)人口に係る数値については、国勢調査結果を用いており、平成22年度の調査実績384,583人より増加傾向にあり、目標である392,000人の達成に近づいている。 ・都市拠点の通行量の数値については、商店街通行量、来街者実態調査の結果を用いており、本調査は2年ごとの調査となっている。平成29年度については、平成27年度の調査値より微増となっており、下げ止まり傾向が見られるものの、目標値に対する達成度は伸び悩んでいる状況にある。				

3 施策を構成する事業の状況

※凡例 ○:「総合計画の戦略プロジェクト・主要事業」対象, ★:「③ 主要な構成事業の進捗状況」対象(5事業選択)

No.	事業名	戦略P・ 主要事業 ※	事業の目的	事業内容		事業の 進捗状況	H29 事業費 (千円)	開始年度	日本一 施策 事業	施策目標を達成するための取組方針
				対象者・物(誰・何に)	取組(何を)					
1	中心市街地活性化推進事業	○★	都市機能の集積や地域経済の活性化	市民・来訪者	「第2期中心市街地活性化基本計画」に基づく各事業の推進	計画どおり	380	H21		第2期中心市街地活性化基本計画に掲げた目標の達成に向け、庁内関係課や民間事業者等との適切な役割分担と連携のもと、各種施策事業を効率的・効果的に実施するとともに、計画に位置付けた民間主体の各種取組について、計画期間内の事業化、推進が図れるよう、民間事業者の誘導・支援に取り組む。また、平成31年度に現行計画期間が終了することから、引き続き、中心市街地活性化に向けた取組を推進していくために、これまでの取組について評価・検証するとともに、新たな計画の策定に向け、リーディングプロジェクト抽出のためのエリア戦略の検討や基礎調査等を実施する。
2	宇都宮駅東口地区整備事業	○★	公共と民間が一体となった本市のまちづくりをリードする新たな都市拠点の形成	市民・来訪者	広域的な交流や賑わい創出に資する立地施設(コンベンション、商業など)の整備	計画どおり	27,564	H16		「宇都宮駅東口地区整備事業者選定委員会」での審査結果を踏まえ、優先交渉権者を決定するとともに、その優先交渉権者と基本協定や事業契約等を締結するなど、地区の整備に向けた取組を進める。 優先交渉権者の提案内容に基づき、都市計画の変更等に関して県や庁内関係課と協議調整を行うとともに、地権者説明や都市計画審議会など法定手続きを行った上で都市計画を変更する。
3	中心市街地西地区まちづくり推進事業		都市機能の更新や交通結節機能の強化等による地区整備の実現	市民・来訪者	中心市街地西地区まちづくりの推進	計画どおり	—	H26		LRT宇都宮駅西側整備の検討等を踏まえながら、都市機能の更新や交通結節機能の強化等による地区整備に向けて、引き続き権利者等と意見交換を行っていく。
4	再開発促進事業	○★	高次な都市機能の集積を図るとともに、安全・安心で快適な市街地を形成する	市街地総合再生計画対象地区内再開発準備組合：パンパ地区、千手・宮島地区)	市街地再開発事業に係る高度な専門知識を有するコンサルタント派遣	計画どおり	4,957	S57	トップクラス	市街地再開発事業は、老朽建築物の更新による防災性の向上や、高度な都市機能の集積を図る事業であり、検討地区の事業化に向け、権利者の合意形成や、事業計画素案の検討に係る取組に対し支援・指導していく。
5	大手地区市街地再開発事業補助金	○★	高次な都市機能の集積を図るとともに、安全・安心で快適な市街地を形成する	宇都宮大手地区市街地再開発組合	・市街地再開発事業の実施に係る補助金の支出 ・職員による事業に対する技術的支援	計画どおり	1,877,954	H25		多様なニーズに対応した都市型住宅や利便性の高い商業施設を整備するものであり、都心居住、定住促進による中心市街地の活性化に寄与することから、平成30年度の工事竣工に向け、円滑に事業が進捗するよう定期的に工程管理を実施するなど、組合を支援・指導していく。
6	JR宇都宮駅西口周辺地区の整備	○★	宇都宮の玄関口としてふさわしい都市基盤や多様な都市機能の集積を図る	市民、来街者及び関係権利者	・LRTルートや駅前広場等の一体的な検討 ・地元まちづくり活動の支援等	計画どおり	12,571	H19		県都の玄関口に相応しい都市拠点の形成に向け、高次な都市機能の集積や交通結節機能の強化を図る。 JR宇都宮駅西口周辺地区整備基本計画策定に向けた検討については整備基本構想を踏まえるとともに、引き続きLRT等関連事業との整合や地元まちづくり協議会との連携を図りながら取り組んでいく。
7	岡本駅周辺整備事業	○	地域拠点の形成及び交通結節機能の充実	・岡本駅周辺、北東部地域住民及び駅利用者	・岡本駅東西自由通路・橋上駅舎や駅前広場等の整備の推進	計画どおり	127,269	H21		利便性の高い東口駅前広場整備や良好な駅前景観の形成に向けた電線共同溝整備が計画どおり進捗するよう、関係機関(JR東日本、東京電力、NTT、上下水道局等)と密に協議・調整を行い、効率的に工事を実施し、平成30年度の整備完了を目指す。また、公共交通サービスの充実を図るため、鉄道・バス・タクシーなど交通事業者と連携しながら交通環境の改善に取り組んでいく。
8	宇都宮まちづくり推進機構補助金		中心市街地の賑わい創出や魅力向上	宇都宮まちづくり推進機構	中心市街地活性化に向けた事業の実施支援	計画どおり	20,674	H11		宇都宮まちづくり推進機構は、本市中心市街地の貴重な地域資源である釜川を活用したイルミネーションや川床桜まつりなどの四季折々のイベントや、オリオン通りにおけるオープンカフェ事業等を継続的に実施しており、平成30年度はまちづくりの活動拠点としてのイエローフィッシュの活用促進に向けた事業などに取り組んでいく予定である。引き続き、NPO法人のメリットを生かした自立的かつ安定的な経営基盤の確立に向けた新たな収益事業の発掘等、自主財源の確保、また、第2期中心市街地活性化基本計画に位置付けた新規事業の検討・実施を行うなど、魅力ある中心市街地の形成に寄与する取組を進めていることから、これらの取組について引き続き支援していく。

9	宇都宮テクノポリスセンター地区開発整備推進協議会負担金	テクノポリスセンター地区の施設立地促進	宇都宮テクノポリスセンター地区開発整備推進協議会	宇都宮テクノポリスセンター地区開発整備推進協議会の解散	計画どおり	—	H6	平成28年度末に当協議会が関与する造成宅地の処分が完了し、宇都宮テクノポリスセンター地区における施設立地促進を図るという所期の目的を達成したことから、平成30年3月31日付で当協議会を解散し、事業を終了とする。
---	-----------------------------	---------------------	--------------------------	-----------------------------	-------	---	----	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------

4 今後の施策の取組方針

今後の方向性	
課題	方向性
<p>◆地域特性を生かした魅力ある拠点の形成に当たっては、本市全体の活力をけん引する高次の商業・業務機能などの都市機能や市民の日常生活を支える生活利便機能の集積など、拠点性を高める取組が実施されているものの、恒常的な賑わいを示す平日昼間の通行量が伸び悩んでいることから、市民や民間事業者等と連携を図りながら、交通結節点における利便性の強化や高次な都市機能の誘導・集積に向けた取組の推進と併せて、賑わいと回遊性の向上に繋がるような交流拠点づくりなどに取組み、地域特性に応じ、暮らしやすく魅力ある拠点づくりを推進する必要がある。</p> <p>◆拠点形成に向けた事業の推進に当たっては、今後の超高齢・人口減少社会の進行を見据え、これからの人口規模・構造や都市活動に見合った持続可能なまちづくりの推進が求められていることから、関係機関との更なる連携や関係権利者の合意形成等を図りながら、都市基盤等の既存ストックを活用しながら、民間事業者等と連携し、効果的・戦略的に取り組んでいく必要がある。</p>	<p>〈施策全般〉</p> <p>◆本市が目指す都市空間の姿である「ネットワーク型コンパクトシティ」の形成に向けて、「立地適正化計画」に基づき、地域特性に応じた都市機能の集積や土地利用等を推進するとともに、市民・事業者・行政が連携し、機能的で魅力ある拠点の形成に向けた施策・事業に取り組む。</p> <p>〈主要事業〉</p> <p>◆中心市街地活性化推進事業 第2期中心市街地活性化基本計画に基づき、庁内関係課や民間事業者等との適切な役割分担と連携のもと、各種施策事業を効果的・効率的に実施するとともに、計画に位置付けた各種取組について計画期間内の推進を図れるよう、民間事業者等の支援に取り組む。また、平成31年度に現行計画期間が終了することから、引き続き中心市街地活性化に向けた取組を推進していくために、これまでの取組について評価・検証するとともに、LRTのJR宇都宮駅西側延伸に向けた検討状況を踏まえ、新たな計画の策定に向け、リーディングプロジェクト抽出のためのエリア戦略の検討や、基礎調査等を実施する。</p> <p>◆宇都宮駅東口地区整備事業 「宇都宮駅東口地区整備事業者選定委員会」での審査結果を踏まえ、優先交渉権者を決定するとともに、その優先交渉権者と基本協定や事業契約等を締結するなど、地区整備に向けた取組を進める。また、優先交渉権者の提案内容に基づき、都市計画の変更等に関して、県や市都市計画課と協議調整を行うとともに、地権者説明や都市計画審議会など法定手続きを行った上で都市計画を変更する。</p> <p>◆市街地再開発事業 現在、検討を進めているバンバ、千手・宮島地区の事業化に向けては、今後の社会経済情勢を踏まえながら、準備組合による権利者の合意形成や事業計画素案の検討に係る取組に対し、支援・指導していく。</p> <p>◆大手地区市街地再開発事業補助金 多様なニーズに対応した都市型住宅や利便性の高い商業施設を整備するものであり、都心居住、定住促進による中心市街地の活性化に寄与することから、平成30年度の工事竣工に向け、円滑に事業が進捗するよう定期的に工程管理を実施するなど、組合を支援・指導していく。</p> <p>◆JR宇都宮駅西口周辺地区の整備 高次な都市機能の集積や交通結節機能の強化など、県都の玄関口にふさわしい都市拠点の形成に向けて、LRT整備などの関連事業との整合や関係権利者等との連携を図りながら、整備基本構想を踏まえた、JR宇都宮駅西口周辺地区整備基本計画の策定などを行う。</p> <p>〈その他個別事業〉</p>